

次の世代にも伝えたいもの。

静岡に生まれてから、こんな風に静岡を好きになった。
自然が好き、気候が温かいところ。
まわりの人々から受け取れる、あたたかみ。
静岡は私の家である。愛が溢れているところ。
心から愛する。心を豊かにしているところ。

静岡が愛する、何世代も愛する。いつまでも、よく心を豊かにした。
静岡は、すべてが愛である。愛を持っていてほしい。
愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。
愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。
愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。
愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。愛は無限大。

静岡は私の愛するところ。愛するところ。愛するところ。
愛するところ。愛するところ。愛するところ。
愛するところ。愛するところ。愛するところ。
愛するところ。愛するところ。愛するところ。
愛するところ。愛するところ。愛するところ。
愛するところ。愛するところ。愛するところ。

自分を「静岡の人」と思えるようになった今。
静岡のことが大好き。
それは静岡に生まれてからの愛。
ここで暮らすことが幸せだと感じる。
今あることに感謝して、愛する。
静岡を愛する。愛する。愛する。愛する。愛する。愛する。

次の世代にも伝えていきたい。静岡 Love。



審査員特別賞

「次の世代にも 伝えたいもの。」

石井将人（静岡博報堂）・

西村春人（nデザイン）・今里 椎

【作品コンセプト】静岡の魅力はこれまで数多く語られていますが、私たちが静岡を愛する一番の理由、「やっぱり住むなら静岡」だと言える一番の理由は何だろう、と考えたとき、それは『人々の心の豊かさ』にあるのではないか、と思いました。静岡で暮らす毎日が幸せだと思えること、それを静岡に住む皆が共有していること。また、県外から来た人もすぐに馴染んでしまう懐の深さや温かさ。そんな『心の豊かさ』は親から子へ、人から人へ伝わり、静岡への愛を育んでいるのではないのでしょうか。それを「県外から来て、静岡を愛するようになった人」の視点で語り、親と子（人與人）の絆・静岡への愛（富士山の形）をピンクの3本線で表現。また、過去から現在、未来へと続く時代の繋がりをイメージしていたために、写真をモノクロで使用しました。